

「アートを活用形？」 釜ヶ崎オ！ペラ2 つづき

ジャワ

ジャワの音楽家スニョトを迎えて
大阪のガムラン合奏団が
釜ヶ崎の友人たちとともに奏でる
心に響く音楽

大阪の燦

主催 | 大阪市立大学
共催 | NPO法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)
後援 | 大阪府、大阪市、在大阪インドネシア共和国総領事館
協力 | マルガサリ
助成 | 平成27年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

出演
スニョト (ガムラン演奏家)
ウィヤンタリ (ジャワ舞踊家)
釜ヶ崎芸術大学受講生ほか
マルガサリ

日時 2016年2月7日 入場無料

開場 14:30 開演 15:00~17:00 までの予定

場所 大阪市立大学 田中記念館ホール

プログラム
第1部

(ジャワの古典曲)

グンディン 'トゥルラレ'

グンディン 'ネネス'

ラドラン 'サミアジ'

クタワン 'イリル・イリル'

ジヌマン 'ウルル・カンバン'

(舞踊)

クロノアルス

'ジュンクン・マルドゥヨ'

第2部

(新たな試み)

釜ヶ崎オ！ペラより

組曲「宇宙ガムラン」

新曲

mar
gatsari



▼「アートを活用形？」概要:この事業は、平成27年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の助成を受けて大阪市立大学が行う社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業「アートを活用形？」の一環で実施するものです。

ま見いと分感るとを達ジ
う失たにとがと聴者ヤ
のっ旋追に全が、いのワ
だ。て律っ気うく拍ての
。しをてづこ自節い腕

スニョト

中部ジャワの伝統的ガムラン音楽のエキスパートとしてインドネシア芸術大学で教鞭をとるかたわら、音楽創作に鋭い感覚を示す。陽気な性格と深い知識で多くの人々から愛される。これまで中之島国際音楽祭（2009）など数度来日して日本にも多くのファンをもっている。今回は「釜ヶ崎オ！ペラ2」に招待アーティストとして参加。

僕は「ピアニストです」と名乗る。僕は、境界線から外に出て行って初めて自分がピアニストだと名乗れることを知った。

まく見なだ倍やの生物の使装
せる人る響伸音、モチき物わ飾
。をを響伸音、モチき物わ飾
。をを響伸音、モチき物わ飾
し。をを響伸音、モチき物わ飾

五年前、薄暗い照明とガムランの音のなか、ゆっくりとオリジナルの踊りを舞う釜のおっちゃんはかっこよかった。

自身の肌にバティックがまつわりつかぬように、彼の地の言葉に体温を重ねることはできない。
香港人の広東語の抑揚が好きだった。囀り過ぎの小鳥達。けどあの天安門の
数年前から、我が物顔で闊歩する大陸風広東語には身震いがした。

ウィヤンタリ

インドネシア芸術大学を卒業後、舞踊家及び振付家として活躍し、1998年にジョグジャカルタ州舞踊演劇祭最優秀振付家賞、99年に最優秀衣装賞を受賞。2000年以降は大阪に在住し、舞踊グループリントンシシッを主宰してジャワ舞踊の普及と後進の指導に努め、それが認められてインドネシア共和国務省より功労賞を受賞（2006）。フランスとスイス、オーストラリアでも踊る。

マルガサリ

大阪府豊能町のスタジオ「スペース天」を本拠とし、ジャワの伝統音楽と新たな創作を本格的に追求する団体。2008年にはインドネシアツアーを催行し、好評を博した。野村誠、三輪真弘、エイスマ（オランダ）、アスモロ（インドネシア）、コットロイ（オーストラリア）、マクダモット（米）らがマルガサリに新作を寄せる。インドネシア国立芸術大学と提携し、舞踊劇『千の産屋』他の共同作品を生む。2015年には京都府・ジョグジャカルタ特別区友好提携 35 周年記念コンサートにジョグジャカルタ王宮舞踊団とともに出演した。釜ヶ崎における本格的なガムラン協働を画策中。

mar
gasari

みんなのエピソードにサロン（楽器）の中からお好きな音を探してあてていく、その作業がとても楽しく、その場にいるみんなを暖かくつつみこむ包容力を感じた。

中学の時にベラ・バルトトークと川上ミネさんの活動から民族音楽に興味を持ち始めた。

釜ヶ崎芸術大学

2012年より大阪市西成区釜ヶ崎でスタート。地域のさまざまな施設を会場にして、ゆるやかにお互いに学び合う大学と名乗る釜芸プロジェクト。2015-16年のシーズンでは天文学、哲学、美学など約 100 講座を開催している。近隣の高校や中学校への出張講座も行っている。森村泰昌氏が芸術監督のヨコハマトリエンナーレ 2014 に招聘され、メディアを含めて大きな反響を呼んだ。今年度から大学院〔釜ヶ崎美学学会〕もスタートさせ、ますます拡張傾向にある。NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）が主催。

会場案内

大阪市立大学 田中記念館ホール

〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138

最寄り駅

JR阪和線「杉本町」駅西口
徒歩すぐ

大阪市営御堂筋線「あびこ」駅
4号出口 徒歩 15分



私はガムランが嫌い。
自分の一部だから。

仕事で「苦手な相手だけど、一緒にやらないといけない」ところが多々あり、とりあえず話すと意外と気が合ったり、同じだなあと思ったりしますが、ガムラン演奏者は色々な楽器をとりあえず受け入れるという、その姿勢は生活に必要です。